

令和2年度 厚生労働省委託事業
がん総合相談に携わる者に対する研修事業

がんサポートプログラム 企画の手引き

2020年度版



令和2年度 厚生労働省委託事業
がん総合相談に携わる者に対する研修事業

がんサポートプログラム 企画の手引き

2020年度版

はじめに

地域がん診療連携拠点病院の指定要件（がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針平成 30 年 7 月 1 日）において、がん相談支援センターに必要な機能として、「医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援」が求められており、医療従事者が運営する構造化されたサポートグループ、あるいはピア・サポーターが中心となり運営されるピア・サポートプログラムなど、すでにさまざまな取り組みが行われています。しかし、それらの取り組みが、本来の意味でがん患者とその家族に対して、効果的な心理社会的支援となっているかの再検討を行い、それが十分でない場合は、それぞれのプログラムの質を向上させたり、患者と家族の選択肢の幅を広げたりすることが求められます。

そこで、がん患者やその家族を支援するための取り組み、すなわちがんサポートプログラムはそれぞれの施設で活用できるリソースにより異なるため、自施設にとって最適なサポートとするためには、どのように運営するのがよいか検討するための参考になるよう、がん診療を行う病院のための「がんサポートプログラム企画の手引き」を作成しました。

この手引きは、おもにがん診療を行う病院で勤務するがん患者を対象としたサポートプログラムの企画・運営に携わる医療従事者を対象にしています。本手引きに記載されたがんサポートプログラムの目的とその背景、さらに具体的な方法を事前に理解し、自施設の人材や地域の関連機関のリソースを活用した計画を立てることが必要です。

たとえば、この手引きを読むことで、これからがんサポートプログラムを新たに始めようと考えている病院ではどんな開催の形態があるかを知り、病院のリソースの実態に合ったプログラムを企画することができます。また、すでに患者サロンなどのサポートプログラムを開催している病院では、プログラムの質を評価しそれを修正したり、運営上の問題点がどこにあるかを理解しその対策を検討したり、またがん患者とその家族に新たな支援の選択肢を提供するための追加のプログラムを企画したりすることに役立ちます。

それにより、がん患者やその家族が安心して自分らしく暮らせるためのより最適で効果的なサポートプログラムの運営ができるようになります。

2019 年 12 月

平成 30 年度がん総合相談に携わる者に対する研修事業
短期サポートグループワーキンググループ長

平井 啓

目 次

はじめに	3
------------	---

I. がんサポートプログラムとは？

A. がんサポートプログラムの必要性	8
B. がんサポートプログラムの目的	8
C. がんサポートプログラムの方法論	11
D. 理想的ながんサポートプログラムと 最小限のがんサポートプログラム	14

II. がんサポートグループ運営の手引き

A. がんサポートグループの必要性	18
B. がんサポートグループの形態	20
C. がんサポートグループの運営方法	23
1. 医療従事者が主体となって運営するサポートグループ	23
2. 医療従事者とピア・サポーターが協働して運営するサポート グループ	26
3. ピア・サポーターが主体となって運営するサポートグループ ..	29

D. がんサポートグループにおける参加者への オリエンテーションのポイント	32
1. 参加を促す	32
2. ルールを説明する	32
3. 継続参加について	32
4. 評価のフィードバックを求める	33
E. がんサポートグループにおけるファシリテーションの 方法	33
1. ファシリテーションとは？	33
2. ファシリテーションの目的	34
3. ファシリテーションの役割	34
4. ファシリテーションの実践	35
5. ファシリテーターの自己表現	36
6. ファシリテーションする際の注意事項	36
7. ピア・サポーター・参加者へのフォロー	37
F. がんサポートグループによるがん体験のロールモデル	37
1. ピア・サポーターが提供するロールモデル	38
2. ファシリテーションにより参加者相互でロールモデルとなる	38
G. メンタルヘルスの専門家へのコンサルテーション	39

Ⅲ. がんサポートグループの運営において生じる課題

A. がん患者と家族をサポートする取り組みを適切に運営する ためのフローチャート	43
---	----

IV. がんサポートグループのモデルケース

A. 医療従事者によりファシリテーションが行われる サポートグループ	46
1. グループの設定	46
2. セッションの展開	48
3. 参加者の背景と参加動機	49
4. 参加後の感想	50
5. あるセッションの一場面	51
6. 医療従事者が知っておきたいポイント	54
B. ピア・サポーターと医療従事者との協働により ファシリテーションが行われるサポートグループ	54
1. グループの設定	56
2. セッションの展開	57
3. あるセッションの一場面①	58
4. 参加後の感想①	58
5. あるセッションの一場面②	59
6. 参加後の感想②	59
C. ピア・サポーターが主体となってファシリテーションが 行われるサポートグループ	60
1. グループの設定	61
2. セッションの展開	62
3. 参加動機	63
4. 参加後の感想	63
引用・参考文献	65